

■日時 令和元年8月13日(火) ■天候 曇り 宮崎県立延岡青朋高校・定通 対 クラーク記念国際高校・千葉・通

■球場 葛飾総合スポーツセンター 第2試合 1回戦 ■試合時間 3時間11分 ■備考

■審判 球審:小松 塁審:渡邊 鈴木 大和

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
延岡青朋定通	東九州・宮崎	3	0	5	5	0	0	0	0	1						14	9	3
クラーク千葉	千葉	1	4	1	3	0	5	0	2	×						16	8	7

延岡青朋定通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	4	5	6	7	8	9				
1	遊	中	三浦龍之介	6	2	4	2	右2	中2	左安	左安			二併		三振					
2	三		安在純永	4	1	1	1	中2	三振	遊失	左飛			四球		四球					
3	中	遊	水永蒼	5	1	0	0	四球	三振	二飛	三振			三振		二ゴ					
4	投	中	椎葉空	4	2	1	0	投飛		四球	死球	右飛			左安		三振				
5	捕	遊	北川昂嗣	4	1	0	0	三振		三振	死球		三振		三振		四球				
6	一	捕	小野賢辰	6	2	2	3	中安		投ゴ	三失		右2		遊失		二ゴ				
7	右		山本永遠	4	2	1	0	死球		左安	死球		三振		三振		三失				
8	左		甲斐大地	3	2	0	1	三振		死球	四球		三振		三振		四球				
9	二		黒木唯衣	4	1	0	1		三振	三失	四球			四球		三振	三振				
合計				40	14	9	8	残塁:13 併殺:													
備考																					

■バッテリー

投手
椎葉空
三浦龍之介
水永蒼

捕手
北川昂嗣
小野賢辰
椎葉空

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
椎葉空	1	5	1	1	2	0
三浦龍之介	2	11	3	2	2	5
水永蒼	5	27	4	11	6	8

クラーク千葉		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	遊		宮本大新	3	3	1	1	二飛	四球		左3		四球	三振							
2	中	投	銀屋拓真	4	3	3	5	中3	右本		遊ゴ		遊安		死球						
3	右	三	橋本裕輝	4	3	0	0	四球	遊飛		一失		遊選		三振						
4	一		原田大地	4	0	0	0	四球		三振	遊ゴ		三振		三振						
5	三	投	米倉希海	5	2	2	1	三振		右3		三振	三振		中本						
6	捕		豊田壱成	3	1	0	0		死球	遊飛		三振	三振		四球						
7	左		工藤優輝	4	1	1	0		中安	三振		投ゴ		死球	三振						
8	二	右	渡辺統	3	1	0	0		左飛		投ゴ		四球	三振							
9	投	二	中西祐太	3	2	1	0		一邪		左安		四球	三振							
合計				33	16	8	7	残塁:3 併殺:1													
備考																					

■バッテリー

投手
中西祐太
米倉希海
銀屋拓真

捕手
豊田壱成

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中西祐太	2 2/3	13	6	6	4	3
米倉希海	1 1/3	18	1	1	5	2
銀屋拓真	5	23	2	11	5	0

■戦評

東九州・宮崎代表の宮崎県立延岡青朋高校と千葉代表のクラーク記念国際高等学校・千葉の試合は初回、先攻の延岡青朋高校の1番三浦が右翼への2塁打で幸先よく好機を作ると、2番安在の中堅への2者連続の2塁打で1点を先制。その後も6番小野の中前打などでこの回3点を先制する。延岡青朋高校は3回、4回にも相手の失策につけ込み、1番三浦の2本の適時打などでそれぞれ5点ずつ挙げ、4回までに大量13点をとる。対する後攻のクラーク千葉は2回裏に2番銀屋の逆転となる満塁本塁打で4点を挙げるなど小刻みに点数を重ね、4回終了までに9得点と、強打の延岡青朋高校に食いつかる。乱打戦となった試合は6回裏3つの四球で作った好機で2番銀屋が遊撃手の後方にほとりと落ちる適時打を打ち、送球が乱れる間に3点を追加。この回さらに2点を挙げ、逆転する。8回にもダメ押しとなる2点を挙げる。乱打戦となった強打の両校の試合は16対14でクラーク千葉の勝利。強打の延岡青朋高校も自慢の打線を存分に発揮するが、途中から登板した銀屋の粘りの投球の前にあと一本が出ず、敗退となった。